

NDB サンプルングデータセットに基づく高齢者における精神疾患の 薬剤使用に関する網羅的研究

石井 一夫¹ 吉永 泰周² 坂上 竜資² 小路 純央³ 野原 正一郎³ 野原 夢³
森川 渚³ 福本 義弘³

公立諏訪東京理科大学¹ 福岡歯科大学² 久留米大学³

高齢者は、せん妄、抑うつ、認知障害、睡眠障害など様々な精神障害を患っていることが多い。特に、抗うつ薬、睡眠薬、抗不安薬、抗精神病薬などの多種の向精神薬を処方され、ポリファーマシー（多種薬剤投与）の状態に至り、ADL（日常生活動作）や QOL（生活の質）を悪化させる。近年、地域包括ケアシステムの推進により、在宅医療を受ける高齢者の増加が見込まれる。本研究では、NDB サンプルングデータセットをもちいて、このような医薬品の在宅供給を受けた高齢者の向精神薬と他の医薬品の処方状況を調査することにより、高齢者の医薬品使用状況を把握することを試みた。その結果、このような在宅医療を受ける高齢者は、せん妄、認知症など認知障害が顕著に多いことを認めたので、報告する。

【目的】日本の高齢化が年々急速に進行しているが、高齢者は糖尿病、高血圧、高脂血症、心血管疾患、脳血管疾患などの生活習慣病に起因する認知障害、せん妄、抑うつ、睡眠障害などの精神疾患の合併を非常に高頻度に引き起こす。その結果、QOL、ADL の悪化にともなう在宅医療、要介護に至る。NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）サンプルングデータセットを用いて、高齢者の多剤併用や在宅調剤などの生活習慣病、精神疾患の現状を調査することを目的とした。

【方法】1 研究デザイン: ケースコントロール研究(後ろ向き研究)。

2 対象、セッティング: NDB サンプルングデータセット(2011年1月~2020年1月までの、1月、4月、7月、10月の37ヶ月分)の外来レセプト、及び、調剤レセプトに記載された患者を対象とした。

3 主たる要因: 各種生活習慣病および精神疾患に関連する傷病名及び医薬品名、診療行為を主たる要因とした。

4 主たるアウトカム指標: 外来および在宅医療に

おける傷病名コード、医薬品コード、診療行為コード、調剤コードのうち、生活習慣病および精神疾患に関連するものをアウトカム指標とした(表1, 表2)。

5 統計解析方法: 各コードの集計値、年齢調整済オッズ比、 χ^2 二乗検定を指標に、クラスタ解析などを用いてグラフ化視覚化を行った。

【結果】在宅患者において生活習慣病のうち心血管系疾患(脳血管障害、虚血性心疾患)を罹患した患者が顕著に多く、また精神疾患では、認知症(アルツハイマー病)、せん妄など認知障害を示す患者が顕著に多く、また多剤併用(ポリファーマシー)の患者が顕著に認められた(表3、4、図1-3)。

【考察】レセプトデータの分析により、在宅医療において心血管系疾患と認知障害の合併と多剤併用の実態が認められた。

A comprehensive study of drug usage of elderly patients with psychiatric diseases using NDB sampling data set

1 Kazuo Ishii, Suwa University of Science

2 Yasunori Yoshinaga, Fukuoka Dental College

3 Ryuji Sakagami, Fukuoka Dental College

4 Yoshihisa Syouji, Kurume University

5 Shoichiro Nohara, Kurume University

6 Yume Nohara, Kurume University

7 Nagisa Morikawa, Kurume University

表1 本調査における各生活習慣病の定義

生活習慣病	ICD-10	薬剤薬効分類
①糖尿病	E11~E14	396,249
②脳血管疾患	I61,I639,I64	333
③虚血性心疾患	I209,I259,I219,K615	211,213,214,217,219
④高血圧症	I10	213,214,217,219
⑤高尿酸血症	E790	394
⑥高脂血症	E785,E780,E781	218
⑦肝機能障害	K760,K701	391
⑨がん	C00~99	421,422,423,424,429

8 Yoshihiro Fukumoto, Kurume University

表2 本調査における精神神経疾患との定義

精神神経疾患	ICD-10	薬剤薬効分類
詳細不明の認知症	F03	112,117,119
せん妄	F05	112,117,119
アルコール障害	F10	119
統合失調症	F20	112,117,119
双極性障害	F31	112,117,119
うつ病	F32	112,117,119
その他の不安障害	F41	112,117,119
その他の神経症性障害	F48	112,117,119
摂食障害	F50	112,117,119
パーキンソン病	G20	116
アルツハイマー病	G30	119
睡眠障害	G47	112,117,119

表3. 在宅医療と生活習慣病の関連性

	レセプト数	罹患率	在宅レセプト数	オッズ比	調整済みオッズ比	カイニ乗値
全体	7890054	—	129594	—	—	—
糖尿病	1463130	18.54	19033	0.75	0.77[0.76-0.78]	1108.29*
脳血管障害	83347	1.06	3610	2.76	2.22[2.15-2.30]	2241.67*
虚血性心疾患	1017348	12.89	23435	1.5	1.14[1.12-1.16]	318.18*
高血圧症	4716512	59.78	85930	1.33	0.96[0.95-0.97]	47.29*
高尿酸血症	595145	7.54	8619	0.87	1.08[1.06-1.11]	49.81*
高脂血症	2719618	34.47	26649	0.49	0.41[0.40-0.41]	17724.39*
肝機能障害	3980	0.05	8	0.12	0.16[0.08-0.32]	35.80*
がん	128117	1.62	1763	0.83	0.85[0.81-0.89]	43.69*

*p<0.001

表4. 在宅医療と精神神経疾患との関連性

	レセプト数	罹患率	在宅レセプト数	オッズ比	調整済みオッズ比	カイニ乗値
全体	7890054	—	129594	—	—	—
アルツハイマー病	328397	4.16	41131	12.1	7.58[7.49-7.68]	137612.7*
パーキンソン病	114586	1.45	8372	4.98	4.24[4.14-4.34]	17577.04*
詳細不明の認知症	64168	0.81	11900	14.91	9.33[9.13-9.52]	65101.34*
せん妄	23135	0.29	4166	13.56	9.11[8.81-9.43]	23569.37*
アルコール障害	4874	0.06	263	3.42	1.42[1.10-1.82]	7.53*
統合失調症	354811	4.50	20432	4.16	7.06[6.94-7.17]	76033.34*
双極性障害	116361	1.47	2363	1.25	3.26[3.13-3.40]	3349.39*
うつ病	734744	9.31	20125	1.81	2.42[2.39-2.46]	13395.58*
その他の不安障害	501303	6.35	10725	1.34	1.39[1.36-1.42]	1021.58*
その他の神経症性障害	297230	3.77	8003	1.7	1.96[1.91-2.01]	3356.16*
摂食障害	14742	0.19	1320	5.94	6.81[6.42-7.22]	5574.65*
睡眠障害	1921068	24.35	51221	2.06	1.87[1.85-1.90]	12250.69*

*p<0.001

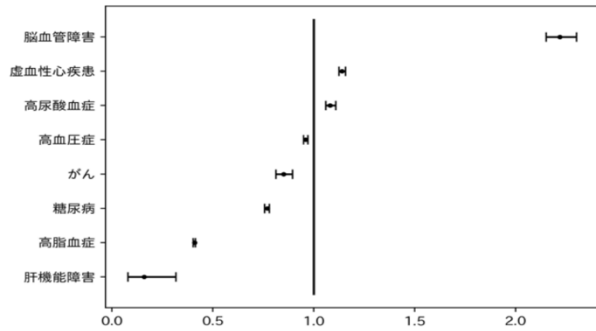


図1. 在宅医療と生活習慣病の関連性

黒丸は調整オッズ比を示し、エラーバーは95%信頼区間を示す。

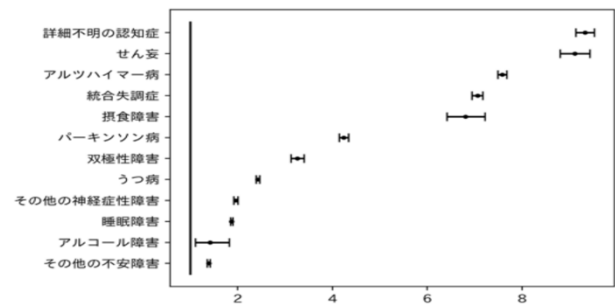


図2. 精神神経疾患と在宅医療のオッズ比

黒丸は調整オッズ比を示し、エラーバーは95%信頼区間を示す。

多剤併用（6剤以上）

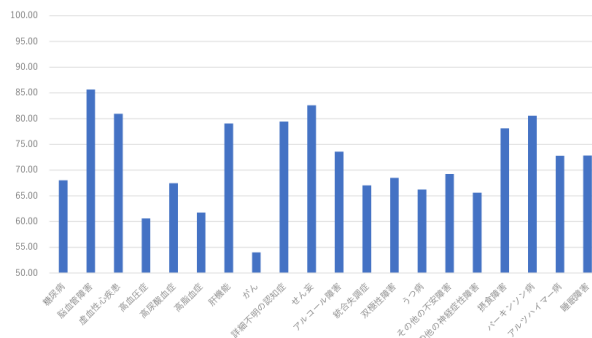


図4. 疾患における多剤併用